


整理番号	HT25242	分野	医歯薬学	(キーワード)障害者理解、精神障害者
------	---------	----	------	--------------------

## 沖縄キリスト教学院大学

### 医療・保健・福祉分野、教職を目指す人たちへ—精神障害者・回復者理解と就労を学ぶ

先生(代表者)	近藤 功行(こんどう のりゆき)人文学部・教授			
自己紹介	<p>大学院博士課程在籍中、日本学術振興会特別研究員 DC・PD の沖縄県での採用第1号となりました。大学院生時代は、人類生態学・公衆衛生学をベースとした研究に関心を持っていました。特に、フィールドワークを基とした基礎的な研究です。その頃からずっと、終末期医療・ターミナルケア・在宅介護に関わる内容や終(つい)・死の場所に関して、与論島を通して調査研究を継続してきています。「沖縄の昔を見るみたいだ」と、沖縄から与論島にやってきたオジイ・オバアはそう語ります。何で、でしょう。「何でかねえ! ?」。今回の研究紹介は奄美大島からが中心です。「何でかねえ! ?」が、そもそも研究の走りです。探求を5年10年とやってゆくことで、この「何でかねえ! ?」のいくつかが解明されるのではと考えます。セレンディピティ(serendipity)を、つかむことが大事です。今夏、1日だけのプログラムですが、一緒に体験をしましょう。そして、一緒に走ってゆきましょう。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成25年8月10日(土)	(対象) 高校生	(人数) 40名	
集合場所・時間	沖縄キリスト教学院大学 SHALOM 1-1 教室	(集合時間)	10時15分	
開催会場(集合場所)	<p>沖縄キリスト教学院大学 住所: 〒903-0207 沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地 アクセスマップ: <a href="http://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kotu_map.htm">http://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kotu_map.htm</a></p>			
<b>内 容</b>				
<p>今回実施します本プログラムは、担当者・近藤功行の所属する大学への進学目的となるものではありません。これから、県内外の医学部また医療福祉系学部への大学進学を考える高校生の皆さんや、教育学部などで障害者支援を担う教員になろうとしている皆さん、特に研究に興味を持っている皆さんがいれば、その皆さんを対象に本プログラム内容を学んでいただきたいと考えています。実施場所が、担当者の所属する大学なのです。さて、対象は高校1年生から3年生までです。予備知識は全く必要としません。大学では、より細分化した様々な学問的専門性を持っている教員が存在しています。こうした大学教員は、国の研究費申請を毎年行なうチャンスがあり、採択された場合にはこの資金を使用して研究を実施します。その後まとめた研究成果は、学会発表や雑誌掲載といったことを行ないます。着手した研究では、新知見が出てくる場合もあります。将来、こうした研究に従事することを考えているような高校生の皆さんもいるはずですよ。</p> <p>研究者・教職を目指す皆さん、また上記のコースに進学を希望している皆さんにとって、今後、医療・保健・福祉を学ぶ上で重要なテーマとなる本プログラムを実施します。我々が用意しています内容は、日本において3つの障害者(身体・知的・精神)区分がある中の1つ、精神障害者に関しての理解を深める学習を実施したいと考えています。精神障害者(回復者)をどう理解することが大切か、こうした視点を学びつつ、前述しました学問としての知の視点も交えながら、1日を過ごしてゆくこととします。</p> <p>実施にあたっては、受講生の皆さんが、将来、研究者を目指す人にとっては大学卒業後、最初に足を踏み入れることとなる大学院ですが、本学にも大学院があり、本学大学院生にも皆さんのお世話をお願いしています。また、琉球文化圏の島、奄美大島から、精神障害者作業所を運営しています恵川龍一郎所長をお招きし、今、医療福祉を学ぶ上で、何故この視点を学ぶことが大切なのかを教示していただきます。医学系の学会で痛感することですが、精神科医の口演でもっとここがあったらいいものに就労の視点があります。障害者にとって就労とは。皆さんが、この企画に参加して、心に残してもらいたいです。後日、実施報告書を刊行して、この日の活動記録を皆さんにお届けします。</p>				

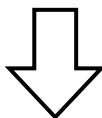
スケジュール		持ち物
10:15	集合確認(受付にて)。資料など配付。	筆記用具、ノート
10:30～10:45	開会宣言。担当者挨拶(予定可能であれば、学長挨拶)。お手伝い学生&スタッフ紹介。プログラム内容の紹介。「科学研究費(科研費:カケンヒ)」の説明について(研究代表者:近藤功行から)	
10:45～11:00	用意した用紙(A4版1枚)に絵を書いて貰う。①今と将来を結びつける内容、②障害者と健常者(=この用語に関しては「障害者」に対する用語として説明する)をイメージする絵。	<b>特記事項</b> ① 本内容に関する予備知識は、まったく不要です。 ② 開催校(沖縄キリスト教学院大学または沖縄キリスト教短期大学)への受験とは全く関係のない、受講者の進路にあわせた日本学術振興会実施のプログラムです。
11:00～11:10	(休憩)	
11:10～11:55	近藤功行談話:科学研究費で目指したもの・目指しているもの。科学研究費獲得の重要性と今回、紹介したい研究から。	
11:55～13:00	(お昼休み:弁当・御菓子支給)	
13:00～13:50	恵川龍一郎所長の講話:精神科病院と精神障害/回復者小規模作業所、こうした精神障害者(回復者)の就労の重要性を奄美大島から発信する視点	
13:50～14:00	(休憩)	
14:00～14:50	近藤・恵川所長講話:精神障害者(回復者)理解はなぜ必要なのか。	
14:50～15:00	(休憩)	
15:00～15:30	総括。受講者の皆さんからの感想や意見発表。午前中実施の①②の絵の解説(①=恵川龍一郎所長、②=近藤功行、から)。	
15:30～15:45	今回の企画に関してのアンケート記入時間(トイレ休憩可)	
15:45～16:00	『未来博士号』の授与(受講者1人1人に手渡し)	
16:00～16:10	会場内の後片付け(みんなで)。プログラム終了宣言(主催者:近藤功行)。解散。	

### 《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	沖縄キリスト教学院大学 企画推進課 米須 瑠美子(こめす るみこ)
住 所 :	沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地
TEL 番号 :	098-946-4161
FAX 番号 :	098-946-1241
E-mail :	kikaku@ocjc.ac.jp
申込締切日 :	平成 25 年 7 月 26 日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
近藤功行	H17-18	基盤研究(C)	17590465	精神障害者、回復者の就労をめぐる医療社会学的研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。